宮古におでんせ

2006.10.29(日)発行
宮古市立河南中学校
1学年
〈経済産業省地域自律・共助活動型キャリア教育推進事業〉
協力：経済産業省委託
NPO法人 未来図書館
印刷：宮古プリント

海を100倍楽しもう!!

宮古の観光名所、浄土ヶ浜。浄土ヶ浜は、霊鏡和尚が、「さながら極楽浄土のごとし」とほめたことから「浄土ヶ浜」という名前がつけられたそうです。和尚が極楽といったのも、うなずけるほど本当にきれいですきとおった水にあふれています。

きれいな海をもっと楽しんで頂くためには、観光船がうってつけです。すばらしい景色を楽しめるだけではなく、うみねこふれ合うことができるのです。丸長製菓と観光船事業所が協力して、作り上げたうみねこパンを手わたしであたえ、えづけすることができます。

〈うみねこパンは百円〉

心地よい潮風があたり、気持ちよく自然をまんきつできるのも、また良いところです。観光船事業所の鳥居栄さんは、仕事上の苦労として、地震の際の船の避難のことを挙げます。確かに地震の多い三陸では、その度に津波に対処して行動しなければなりません。その苦労は多大なものです。しかし、多くの方が満足されており、お客様の喜ぶ顔が何よりの喜びとなっているようです。また、観光にいらした方の「良かった」と言う喜びの声がはげみになるとおっしゃっていました。事実、県外からのお客様から「自然が良い」、「良かった」などの好評の声が聞こえました。まさに、浄土ヶ浜にピッタリのイベントです。宮古の方もそうでない方もぜひ一度乗ってみることをおすすめします。

取材協力／浄土ヶ浜観光事業所

観光都市宮古

宮古の祭りと言えば、鮭まつりや夏まつり、秋まつりが、有名ですが、毛がにまつりや産業まつりなど、全部で約34種類もあります。今の時期だと11月12日に宮古サーモンハーフマラソンがあります。

サーモンハーフマラソンは、全国から参加者が集まります。宮古の名物企画です。

マラソンを走りきった後は、サンマの塩焼き、鮭のあら汁、鮭ごはん等、おいしい海の幸が食べられます。

また、毎年ゲストランナーの方もいらっしゃいます。このマラソンで、宮古のきれいな景色を楽しみながら、走る事が出来る上、いろいろな方とふれあえるという事が、このサーモンハーフマラソンの魅力です。

宮古市産業振興部観光課の佐々木達さんは、観光は「人」が大切であると言います。「人」とは宮古に住む私達地元の人間の事です。

例えば、初めて、宮古に来た人に道案内をするといった本当に小さな親切が私達には出来ているでしょうか。小さな親切が宮古に来てくださった方に、いい所だと思ってもらうことにつながるので、観光都市としてとても重要なことだそうです。みなさんも小さな親切をしてみませんか。その積み重ねは宮古にとってとても大きな財産となっていくはずです。

取材協力 宮古市産業振興部観光課佐々木達様

観光

年間の総利用者数百六万人。観光客四万人が利用する列車、それが三陸鉄道です。

三陸鉄道は地元の足として欠かせない存在ですが、観光客にも利用していただこうとさまざまなイベントを用意しています。主なイベントは、レトロ調列車とおざしき列車「さんりくしおかぜ」の二両があり、おざしき列車は車内をこたつ風にして運転します。このイベントは、冬季間の十二月中旬から二月の間だけのものです。

南リアス線独自のイベントとして、車内の一部を産直コーナーとするものがあります。三陸町産直組合の方が乗って、昔ながらのお菓子、漬物などを販売しています。

また、三陸鉄道だけで販売している、久慈の「久慈ウニ弁当」もみりょくの一つです。

楽しい三陸鉄道

三陸鉄道株式会社の尾山健二さんは、三陸鉄道にいらっしゃる観光客をどんどんふやしていきたいと意気込みを語ります。

みなさんは知っていましたか。三陸鉄道でこのような工夫があったことを。

私たちにとっては通学、買い物のための足としての存在だった三陸鉄道。観光客を集めるための工夫が数多く生み出されています。

たまには気分を変えて、宮古の風景を味わうために三陸鉄道を利用してみませんか？

取材協力／三陸鉄道株式会社

アイスで分かる宮古のよさ

「海のアイス〜沖の井〜」去年売り出したこの商品が今、人気です。開発に携った宮古観光協会の今井仁さんによると「甘さの中にほんのり塩味を感じる。また、まんじゅうやせんべいと違ってアイスは賞味期限がないのでいつまでもおいしく食べることが出来る」というのが海のアイスの開発コンセプトのようです。実際食べてみると口の中に甘さが広がり、普通のアイスのように思われますが、後味に塩味が確かに感じられ、不思議な感じがします。今井さんは、「開発にかかるコストが多いなどたくさんの問題もありますが、商品を買った人の笑顔が励みになっている」と苦労の中にもやりがいを感じている様子を語ります。海のアイス以外にも、ウニを麺に練り込んだ雲丹麺などの商品が開発されてきました。これらの商品は宮古独自のものを作るという思いの下、県内産の材料にこだわって作られています。地元のものだけでこれだけの商品が出来ることから宮古の自然の豊かさ、素晴らしさが分かります。今井さんの仕事は、それを多くの人に伝えていくことでしょう。

皆さん、宮古のよさを感じていますか？身近すぎて忘れている人はいませんか？そんな方々には海のアイスがオススメです。おいしさとともに、忘れかけていた宮古のよさを思い出すことが出来るはずです。

取材協力／宮古観光協会